

活動写真!
今日も元気、

▼女性議員サミットの有志で
有事法制反対会見



▲街行く人に平和へのメッセージ
を呼びかける(YWCAわか
もん企画)

▼恒例の早朝街頭演説
(城山上代交差点)



▲ライン工房の
みらいんぐ
スポーツフェスタに
参加



▲有明海・八代海再生特別措置法に
ついての環境団体・漁民の皆さんと
の学習会

毎日更新中! 平野みどりのホームページ もうご覧になりましたか?

<http://www.hiranomidori.net/>

議会報告や政策の他、日々の議員活動等を通じて、思うこと感じ
ることを、毎日書き込んでいます。

★「今日のひとり言」、大好評!

「平野議員の本音などが、時に真面目に、時にユーモアたっぷりで伝わって
きます。毎日ハマって読んでますよ!」...Mさんのメールより

★週刊「平野みどりのメールニュース」を配信中!

配信ご希望の方は、右記へご連絡ください。⇒ info@hiranomidori.net

みどり議員の活動日誌より

6月

- 2 ふくし生協総会
有事法制を許すな県民集会(テルサにて)
- 3 社民党による有事閣法案反対の意見書の知事提出に同行(総務部対応)
- 5 市町村合併意見交換会(主催:自治研セカ・社民・民主)
- 8 熊教組第94回定期大会
- 9 みらいんぐスポーツフェスタ2002(主催:ライン工房)
- 15 市教組定期大会、子どもの人権ウツパーションを進める会
- 16 有明海・八代海再生特別措置法を考える勉強会
- 18 6月定例県議会開会(～7/2まで)
- 29 第3回女性と政治スクールにてパネリスト参加
「政治を変えよう、仲間を増やそう!」(社民党・東京)
- 30 高教組定期大会、教育フォーラム総会・講演会

7月

- 4 みどり塾「介護保険見直しに向けて」(南部公民館)
- 6 子どもの人権オンズパーションを進める会学習会
- 11 YMCA学院福祉デザイン科3年生の授業で講師
- 14 みどり塾「川辺川ダム問題の基本を知ろう」(西部公民館)
- 19 有事法制反対声明発表(女性議員サミット有志)
- 20 村上博市議視察報告会「長野新幹線と東横線駅地下化」

- 21 リウマチ友の会熊本県支部総会
市教組(東すみよさん選対)事務所開き
- 23 バリアフリーデザイン研究会例会
- 24 JBS(視覚障害者向け放送)に出演(録音)
- 25 平野みどりとくらしを政治につなぐ会役員会
- 26 ヒューマンネットワーク熊本勉強会(新障害者プラン)
- 27 熊本発地域福祉セミナー(主催:銀河ステーション)
- 28 ピープルファースト熊本大会実行委員会
- 31 第5会青年フォーラムわいわいセミナーにて県政報告

8月

- 1 YWCAわかもん企画「有事法制を考える」
- 2 J P九州(議員イターンシップ)メンバーによる訪問
教職員初任者研修者にヒューマンネットワーク熊本の権利擁護活動を講義
- 3 第3回男女共生社会を実現するくまもとネットワーク・総会
&講演会「男女共同参画条例制定その後」講師:佐々木明美山口県議
城山下代夏祭り(城山小7町内)
- 4 ピープルファースト講演会・講師:ピープルファースト東京のメンバー
- 6 みどり塾「介護保険の見直しに向けて」(清水公民館)
- 7 ヒューマンネットワーク熊本勉強会(新障害者プラン)



「つなぐ会(通称)」の会員になり、開かれた県政にむ
けて共に歩んでください!県政報告会や学習会のご案内や
「みどりニュース」などの情報をお送りします。

- 郵便振替口座: 01720-0-50516
- 口座名: 「平野みどりとくらしを政治につなぐ会」
- 年会費: 1口 1000円

県議会報告



みどりニュース 第17号

〒860-0066 熊本市城山下代町475-1 平野みどり事務所
電話: 096(319)4080 ファックス: 096(319)4081
E-mail: info@hiranomidori.net <http://www.hiranomidori.net/>

県民生活への責任は大丈夫?

熊本県議会議員 平野みどり

記録的な猛暑が続いていますが、いかがお過ごし
でしょうか。

さて、住民基本台帳ネットワークが8月5日
から稼働しました。すべての国民に11桁の番号
を付け、地方自治情報センターに個人情報が一
元化されます。ハッカーなどによるデータベース
への侵入とデータの売買、自治体職員による情報
漏洩という危険性は否定できません。今や世界の
流れは、「情報は分散化」の方向にあります。
どうして国(官僚)がここまでこだわるのか疑
問です。

私は、この問題についての認識が不十分だった
ことを反省しています。残念ながら、6月議会
でも、議員の認識は深まっていません。県内
では、住基ネットへの参加を拒否して、国からの
地方交付税を減らされてはとの不安の中、やむな
く参加している自治体も少なくないようです。

また、このシステムについての国による国民へ
の情報公開・啓発などは極めて不十分で、国民
の議論と認識が高まらなかったことも残念です。
私自身は、そもそもこのような巨大ネットには反
対ですが、少なくとも、個人情報保護法が整備



▲6月県議会
で一般質問
をした
生活者の
視点を忘
れ

されるまでは、システムは停止されるべきだと考
えます。

そんな中、熊本県議会の「会議議事録検索シス
テム」と県の「例規データベースシステム」上
で、水俣病に対する様々な差別語が同義語とし
て、検索されることがわかりました。甚だしい失
態であり、システムのスタート時とその後の運用
段階で、十分チェックできなかったことを反省し
なければなりません。

好むと好まざるとに係わらず、世はIT時代に
突入しています。しかし、利便性の裏側には、大
きな落とし穴があることを、今後も議会人として
肝に銘じてまいります。

6月県議会より

今議会では、「い草畳表の価格安定化対策費」1
億8200万円を可決しました。これは、畳表の価
格下落時に助成金を交付する国の制度に、県も上乗
せする予算です。この他、人事案件など34議案を
可決しました。

今回、県民クラブが提出した以下の意見書は、残
念ながら否決されました。

- 「諫早湾干拓排水門の開門調査の着実な実施を求める意見書」
- 「政府提出の有事関連法案の撤回を求める意見書」

●八代海・有明海再生のための特別措置法につい
ては、私の一般質問でも取り上げましたが、県民ク
ラブは反対の立場です。諫早湾干拓問題やダムの影響
を考慮に入れていない再生法は根本的解決策にはなら
ないからです。結局、国会でも継続審議になりました
が、国に対しては引き続き、開門調査の実施と本
格的再生策を求めていきます。

●中学生における丸刈り強制校則問題は、県民ク
ラブの田上県議の質問に対し、「時代の進展の中
で、教育的効果の有無を判断し、見直す時期にきて
いる」と、田中教育長は前向きに答弁しました。
ちなみに県内では、中学校200校のうちまだ12
0校が丸刈り校則を持っています。

■ 7回目の一般質問に立ちました！

1. 有明海・八代海を再生するための特別措置法

【平野】諫早湾干拓問題やダム問題と切り離れた特措法が海の再生にとって十分と言えるのか？

【知事】様々な評価があることは承知している。4県が要望した内容を踏まえており、各県が連携をとり、生活排水処理施設の整備など早急に有効な対策をとることが重要。特措法は領海域の再生に有効。

「抜本的な解決策でなければ再生は困難だと、漁民の皆さんは国会前で連日訴え、国会では結局、継続審議となっています」…平野

2. 川辺川ダム事業

【平野】この事業は必要ないと知事が主張することを県民は期待している。県民が理解を深めるための討論集会は評価する。論議を尽くすことが、どこまで十分かも見極める必要がある。住民投票の可能性も含め尋ねる。

【知事】討論集会の場で県民に見える形で論議が進み、県民もそれをしっかり受けとめてもらいたい。第3回目の討論集会終了したばかり。今後について具体的に示す段階ではない。

「討論集会继续し、知事がダム中止と言える環境に近づけることは大切だと思いますが、ある時期に民意を問うことも必要だと思います」…平野

3. 雇用問題

(1) 緊急雇用対策の効果は？

【平野】官民連携の中、常用雇用創出は図られたか。

【商工観光労働部長】平成11年10月からの3年間で、県と市町村で、490余りの事業で、約5100任の新規雇用と、300人を超える常用雇用が図られた。

(2) 高卒者雇用に対する支援策

【平野】高校生の厳しい就職状況は、就労意欲の減退にもつながり、地域の損失となる。県としても、採用企業への優遇を講じるなど、考えてみてはどうか。

【商工観光労働部長】高卒者の就職支援は重要と考えており、企業ニーズの調査や企業見学会等、県教委、労働局の取り組みと連携して支援する。

(3) ハローワークとの連携

【平野】連日ハローワークは混雑を極めている。労働

行政は国が担うが、県内の公的就職斡旋機関として重要であり、国に対して適正な人員配置を働きかけられないか。



【商工観光労働部長】人員配置は国で検討されること。県としては、学生職業相談室への地域雇用対策推進員や学生職業カウンセラー等15人を配置し、斡旋業以外としてできる求人開拓、相談業務をハローワークと連携して行っている。

「秋田県や鳥取県などの県職員への高卒者の一時的雇用など、他県の取り組みをもっと研究したり、若年者用緊急雇用対策を、県自ら示していくべきです」…平野

4. 地域福祉計画策定支援

【平野】これまでの縦割りでなく、高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉の三分野が効率的に連携していくことが目的の計画。①市町村合併を前に、地域福祉計画策定を合併後へと先送りにする自治体が出ないか。②利用者の立場に立った福祉をどう実現するか。③策定委員会、委員の在り方についてはどう考えるか。

【健康福祉部長】①地域福祉計画はH15年度末までに策定することが望ましい。先送りがないう、策定ガイドラインや推進トップセミナーで啓発していく。②各個別計画を横断する共通理念をもとに、地域特性に応じたサービス実現のため、住民参加による策定を支援していく。③住民を福祉施策の対象としてだけでなく、担い手として位置づけていく。計画策定段階、実施、評価の段階でも、主体的参加を可能にすることが重要。策定ガイドラインで、多様な手法を示す。

5. 新障害者プラン

【平野】障害者プランは、今年度で全市町村策定の予定と聞く。しかし本来は中味が問題。①H15年度の新障害者プランへ反映されるべき今日的課題をどう考えるか。権利擁護など、権利侵害や苦情に対する実効性のあるシステムが不可欠と考えるがいかか。②合併後に先送りしないよう、市町村のプラン見直しをどう支援するのか。

【健康福祉部長】①今日的課題は、障害者の地域生活の支援であり、具体的には在宅サービス及びサービスを利用する際の相談支援の充実である。中でも、権利擁護は重要な課題と考える。どのような施策があり得るか、検討を深める。②県の新計画に呼応して市町村自ら見直しを行い、合併協議の際に福祉分やのビジョンが策定できるよう、圏域ごとの機運の醸成や必要な

データの提供など、住民ニーズに的確に対応できるよう支援する。

「高齢者増に伴い、福祉ニーズは今後も増大します。しかも人権侵害への対応など質的向上も必要です。高齢・児童・障害を分けるのではなく、相互連携した地域サービスが求められています」…平野

6. 学校週5日制スタート後の放課後育成クラブ

【平野】小学校低学年の子どもについては、放課後育成クラブの土曜対応が必要。また、障害を持つ子ども

については小学3年生までではなく、柔軟な対応が必要。それぞれ、受け入れ状況はいかか。

【健康福祉部長】土曜実施状況は78クラブから100クラブへ増加。まだまだ不十分で、今年度から運営費の加算補助を行うなど支援策充実を図っている。障害児は17町村51クラブで88人を受け入れている。小学4年生以上の受け入れも積極的に働きかけていく。

「積極的な取り組みは評価できます。今後は子どもを受け入れる職員の処遇や研修も、改善に向けて取り組みが必要だと思います」…平野

■ 一般質問を傍聴しました！

●みどりさんの質問は生活に根ざしていて、説得力があります。特に、子どもの問題を必ず取り上げくださるの嬉しいです。学校週5日制が始まって、子どもの安全がますます気がかりです。放課後児童クラブがもっと広がっていくよう、これからも取り組みをお願いします。（熊本市・40代女性）

⇒たくさんの体験と人とのつながりの中で、子どもたちが育っていけるよう、環境づくりに頑張ります。

●傍聴席には、「静粛にとか、動き回るな」と注意が書いてあります。ところが、議員の中には「私語が多い。中座したり、落ち着きがない。野次が下品」など困った議員もかなりいます。これが県民の代表かと思うと腹が立ちます。議会も税金で賄われています。もっと平野さんのような議員を増やさなければとつくづく思います。（熊本市・70代男性）

⇒よくこういったご意見や苦言をいただきます。同僚議員としても情けないです。議会のありのままを多くの皆さんに知っていただく必要があると思います。私たちも議会内部から、本会議や委員会のインターネット中継や録画放送、休日や夜間議会の開催など、改革提案を出し

続けていきますので、有権者の皆さんも議会に対し声を届けていただき、周囲にありのままを伝えてください。

●川辺川ダムや有明海など、環境の問題に取り組んでいます。委員会を傍聴したことがあります。本会議での質問と答弁のやりとりは一回だけなのでしょ。うか。（熊本市・30代女性）

⇒各委員会での質疑は、調整がありませんので緊張感があります。しかし、本会議での質問は確かに形式的です。たとえば、質問への執行部（県側）の答弁が不満で、再答弁を求めても、更に踏み込んだ答弁は返ってきません。鳥取県議会では、執行部と議員との事前打ち合わせは一切無しになったそうです。議会の在り方については今後も論議してまいります。

●障害を持っています。バリアフリーやユニバーサルデザインを進めることは当然大事なのですが、必ず政策決定の過程に、当事者や利用者を位置づけてください。これからは当事者の視点で頑張ってください。（熊本市・50代男性）

⇒パートナーシップは対等であることが前提です。皆さんや私の経験を施策に生かし、“当たり前基準”を変えていきましょう。ご意見・ご提案大歓迎です！

▼△▼△▼△▼ 「平野みどり」ってこんな人！

- ★生年月日…1958年6月16日生まれ、ふたご座、B型
- ★出身校…健康小、湖東中、第一高校、津田塾大学卒業
- ★略歴…
- ・大学修了後、機械メーカー、英会話学校勤務
- ・88年、脊髄腫瘍術後麻痺により、30才のときから車いすで生活。
- ・90年～91年、ダスキン障害者海外派遣研修第10期生として、米国で研修。
- ・91年、障害者自立支援センター ヒューマンネットワーク・熊本の設立に参加。
- ・熊本機能病院企画広報部勤務（91年～95年）
- ・97年の熊本県議会議員補欠選挙で当選。現在、2期目。

- ★現在…
- ・DPI（障害者イケアソサエティ）日本会議副議長、
- ・NPO法人自立生活センターヒューマンネットワーク熊本理事。他
- ★好きなもの…ラーメン、ワイン、映画鑑賞
- ★持ち歌…MISIA、カペンテーズ、高橋真理子など。友人談「かなりイケてます！」
- ★創りたい社会…ジョン・レノンの”イマジン”のような世界
- ★平均睡眠時間…5～6時間。お肌のためには後1時間欲しい！
- ★携行品…資料、ノートパソコンなど約10kg、ふうーっ！
- ★同居人…夫・清一さんと94年から。尊敬してます、ハイ！

